

# あいち・なごや・つながる基金の助成について

2019年度は、次の3事業に対して総額180万円を助成しました。

## 1 難民応援DAN養成講座

団体名：NPO法人名古屋難民支援室

事業内容：難民についての理解を広げ、一人ひとりが自分にできる支援の形を見つけるための「難民について初めて知る講座」を開催。また、講座テキストや内容の開発、ボランティアを育成するための「難民応援DAN養成講座」を開催し、継続的な支援体制を整えた。

助成金額：900,000円

### 寄付者へのメッセージ

この度は、日本に暮らす難民の方を取り巻く現状や課題について、認知を高め理解を促進することを目的とした、東海地域で初となる講座「難民応援DAN養成講座」を、あいち・なごや・つながる基金の助成を受けて開催し、また、全173ページに及ぶテキストを作成することができました。寄付者の皆さまに心から感謝申し上げます。

弊団体は東海地域に暮らす難民の方一人ひとりへの直接支援を行っている団体ですが、2018年には全国で1万人を超える数の難民申請者がおり、弊団体にも24カ国85人の新規相談者が来ました。また、継続案件も含めると、延べ相談件数は年間1000件にのぼります。

一方、難民認定率は1%を切っており、日本で難民として暮らすことは容易ではありません。一団体ができることには限りがあり、それを補うものとして、彼らが暮らす地域社会の理解や協力が不可欠です。

本講座では、講座修了後に、参加者の方一人ひとりが自分にできる形で難民の「応援団」となることを目標にしており、今後も継続して開催することで、草の根的に支援の輪を広げていきたいと考えています。次回は2020年12月の開催を予定しておりますので、ぜひご参加いただけますと幸いです。

## 2 外国ルーツの若者に対するキャリア教育支援プロジェクト

団体名：一般社団法人DiVE.tv

事業内容：多文化キャンプ（愛知県内に住む13～18歳の若者52名（うち外国にルーツを持つ者45名）が参加し、アートワークショップ及びキャリアワークショップを開催。）と職場見学会を実施した。

助成金額：450,000円

### 寄付者へのメッセージ

この度はご支援を賜り、本当にありがとうございました。私たちはこれまで様々な在留外国人の方々に取材させていただき活動を通して、今最も支援が必要なのは若者世代ではないかと考えるに至り、今回の事業を企画しました。

しかし、活動初期の段階では、その必要性や効果がなかなか目に見える形にならず、仮説検証自体に時間と労力と資金がかかります。その最も困難な時期を資金面で支えてくださった「あいち・なごや・つながる基金」ならびに寄付者の皆様のおかげで、本事業は第1フェーズを無事に乗り越え、活動の持続可能性を模索する第2フェーズに移行することができました。このことは私たちにとって、実に大きな前進です。

外国にルーツをもつ若者たちは、これからの国際化社会において大きな可能性を秘めています。今後彼らが自分らしく活躍できる社会環境が広がっていくことを願ってやみません。そのための様々な活動に、今後もご関心をもっていただけますと幸いです。

引き続きどうぞよろしくお願いたします。

### 3 発達障がい等、働く上でのコミュニケーションに生き辛さを抱える人のための「コミュニケーションワークショップ事業」、および、企業等への「発達障がい理解促進事業」

団体名：認定NPO法人パンドラの会

事業内容：コミュニケーションに不安を抱えている発達障がいのある人を対象に、「コミュニケーションを楽しく試すワークショップ」を開催するとともに、企業や教育機関等に、大人の発達障がいについて理解を深めてもらうための報告会を開催した。

助成金額：450,000円

#### 寄付者へのメッセージ

この度は貴重なご寄付をいただき、誠にありがとうございました。コミュニケーションを楽しく試すワークショップには年間133名(延べ人数)、ワークショップ報告会と体験会には延べ66名の方にご参加いただきました。

発達障がいなどコミュニケーションに生き辛さを抱えた人をはじめ参加者の皆さまから、居場所として、コミュニケーションの成功体験や変化成長の場として高い評価を頂きました。

残念ながら、最終回(3月)はコロナ禍で開催を中止しました(今年度も現時点で休止中)。

今後はWEBでの開催も含めより多くの方にこのワークショップを体験していただきたいと思っております。

今後ともみなさまのご支援ご協力よろしくお願いたします。